

発行：日本写真芸術学会会報編集委員会

## The Japan Society for Arts and History of Photography.

### 1. 年次大会 案内

#### 令和6年度日本写真芸術学会年次大会ご案内

会員の皆様には益々ご清栄にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

このたび以下の通り、令和6年度年次大会のご案内をいたします。総会は継続して文書総会とさせて頂きましたが、研究発表会は昨年引き続き対面形式（オンライン併用）で開催いたします。

本年の研究発表は、10件の会員の多彩な研究発表を予定しています。また研究発表会に続き、学会賞授与式、そして懇親会も実施いたします。多数の会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

ご参加頂く際には、対面参加オンライン参加問わず、学会HPの申込フォーム、EメールまたはFAXにて、懇親会へのご出席を含め、事前登録をお願いいたします。

#### 申込先

学会HP：<https://www.jsahp.org/>

Email：[jsahp.info@gmail.com](mailto:jsahp.info@gmail.com)

FAX：03-6279-8291

年次大会後の懇親会参加費：500円

申込締め切り：令和6年7月8日（月）

申し込まれた方には事務局から確認のお知らせをいたします。



大会案内ページ  
QRコード

## 2. 年次大会 プログラム

### 令和6年度年次大会 研究発表会プログラム

下記の通り令和6年度年次大会 研究発表会を開催いたします。

開催期日：令和6年7月13日（土）

研究発表会 12:30-18:35

懇親会 18:45-

会 場：東京工芸大学中野キャンパス 5号館（芸術情報館）1階メインホール  
東京都中野区本町 2-9-5

---

開会挨拶 12:30～12:35 高橋 則英 会長

研究発表1（作品口述） 12:40～13:10

川上 光（大阪人間科学大学 人間科学部 社会創造学科）

「存在の確認 ～スナップ写真家のセルフポートレート～」

研究発表2（作品口述） 13:15～13:35

大和田 良（東京工芸大学芸術学部）

「FLORA / ECHO - ルーメンプリントを用いた写真表現の実践 -」

研究発表3（調査口述） 13:40～14:00

石黒 敬章

「新発見の首里城正殿の古写真から大龍柱の向きを考える」

研究発表4（調査口述） 14:10～14:40

鳥海 早喜（日本大学芸術学部）

「日本大学芸術学部所蔵旧岩波コレクション形成における永見徳太郎と山端祥玉から見る写真資料アーカイブに関する調査報告」

研究発表5（調査口述） 14:45～15:15

西川 瞭（滋賀県立大学大学院人間文化科学研究科）

「『VOGUE』におけるウィリアム・クラインのファッション表象」

研究発表6（調査口述） 15:25～15:55

○圓井 義典（東京工芸大学芸術学部）

上田 耕一郎（東京工芸大学芸術学部） カワノミオ（東京工芸大学芸術学部）

「各国の主な美術館におけるダイバーシティにかかわる実態調査とデータベース化（第1期）」

**研究発表 7 (調査口述) 16:00 ~ 16:30**

○白岩 洋子 (白岩修復工房)

山口 孝子 (東京都写真美術館) 塚田 全彦 (東京藝術大学)

「前衛の時代：着彩写真に関する調査」

**研究発表 8 (論文口述) 16:40 ~ 17:10**

高橋 則英 (日本大学大学院)

「初期写真の記録性－ 19 世紀のコロディオン湿板写真の情報量を中心に」

**研究発表 9 (論文口述) 17:15 ~ 17:35**

谷 昭佳 (東京大学史料編纂所)

「日本におけるオートクローム写真の地方展開について－鳥取での事歴を中心にして－」

**研究発表 10 (論文口述) 17:40 ~ 18:10**

白山 眞理 (フリーランス)

「名取洋之助関連ネガの継承にみる写真観の変遷」

**学会賞授与式 18:20 ~ 18:30**

閉会挨拶 18:30 ~ 18:35 吉田 成 副会長

懇親会 18:45 ~ 19:45 2号館地下1階プレイス (学食)



令和5年度 会場の東京工芸大学



令和5年度 井津建郎氏による基調講演

### 3. 関西支部 第9回 研究会

## 日本写真芸術学会 関西支部第9回写真研究会報告

1970年代以降の関西の写真の動向を考え、アーカイブスの方法論を探る

—「図書館に写真集を！」の提言からノンプロフィットでの写真文化普及活動へ—

日 時：2023年10月14日（土曜日）午後2時～午後4時

登壇者：畑 祥雄氏（写真家・映像プロデューサー、大阪国際メディア図書館館長）

司 会：金澤 徹 理事

会 場：京都芸術大学大阪サテライトキャンパス 503 教室

方 法：対面開催とオンライン配信を併用

参加者：対面 13名、オンライン 18名

第9回の研究会では1980年代から現在に至るまで、関西において写真の専門図書館や教育機関の運営、写真展のプロデュースなど多岐にわたる活動をしてこられた畑祥雄氏に御登壇いただき、その活動を振り返っていただきました。また今回の研究会のためにご自身の年譜を資料としてご用意いただき、その年譜に沿ってのレクチャーとなりました。今回お話しいただいた畑氏の主な活動を時系列に記述すると以下になります。

1982年 「図書館に写真集を贈る」活動

1982年 大阪府主宰の「なにわ塾」で写真家山沢栄子塾に参加

1982年 東松照明の世界・展《いま》大阪実行委員会に参加

1985年 大阪人権博物館（リバティ大阪）がユージン・アイリーン・スミス「水俣」を収蔵するコレクションディレクターを担当。

1986年 1990年国際花の博覧会での「花博写真美術館」の企画立案 & プロデュース

1987年 「花博写真美術館」準備のためにOICP（大阪国際写真センター）を設立

1989年 大阪人権博物館にて「リバティ表現大学写真講座」を開講

1990年 国際花の博覧会に「花博写真美術館」パビリオンを出展（展示コレクションはその後大阪府に寄贈）

1992年 「写真図書館」を開設、付属の「写真表現大学」を開講

1992年 ブレーンセンターギャラリーを開設、ユージン・スミス作品の京都国立近代美術館への収蔵をディレクション

1995年 阪神淡路大震災で被災した中山岩太のガラス乾板レスキューのボランティアを組織して活動

1996年 震災を期に「写真表現大学」を継続しつつインターメディアム研究所IMI「大学院」講座を開講

1997年～IMI「大学院」講座、写真図書館、写真表現大学は名称などを変えつつ大阪南港、万博記念公園、宝塚市と移転

2008年 サイエンス映像学会設立に参加、最先端科学を視覚化する活動の常務理事、事務局長に就任

2015年 現在にまで続く「大阪国際メディア図書館」、「写真表現大学&Eスクール（映像・音楽）」を茨木市にて展開

これ以外にも写真展のプロデュースや写真雑誌の出版などその活動は多岐にわたります。また、この間に写真家としての作品制作も行われてきました。そして、これらの活動の特徴付けるものはその多くがノンプロフィット（非営利）の活動であることです。

レクチャーではそれぞれの活動が取材された新聞記事や雑誌などを資料としてふんだんにお見せいただいたのですが、まずほぼ全ての活動がメディアによる取材を受け記録として残っています。また当時文化政策に力を入れていた大阪府などの行政機関とも良く連携されています。このようなマスメディアや公的機関との強い結びつきがノンプロフィットでの活動を支えてきたのではないかと感じました。

また当時の時代背景も大きく影響しています。大阪人権博物館へのユージン・アイリーン・スミス作品の収蔵に協力された1985年は、つくば科学万博でツァイト・フォト・サロンの石原悦郎氏が日本初の写真美術館「つくば写真美術館」を開設した年でもあり、写真を美術館に収蔵するきっかけになったと言われていいます。東西ともオリジナルプリントの重要性に着目した動きでした。そしてそれは「花博写真美術館」や「ブレンセンターギャラリー」という写真専門ギャラリーの開設へと結びつき、後にThe Third Gallery Ayaへと発展していきます。1995年の阪神淡路大震災では、図書館に併設した写真表現大学の受講生が減じましたが、マルチメディアを学ぶインターメディアム研究所IMI「大学院」講座を、伊藤俊治氏をディレクターとして開講。氏の蔵書を加え展開した「大学院」講座に受講生が集まり、総合的には写真図書館・写真表現大学も含んで震災による危機を乗り越えました。1995年はインターネット元年、マルチメディア元年で、タイミング良くマルチメディアに興味を持つ多くの優秀な学生が集まったのです。そして、写真表現大学やIMI「大学院」講座で創られたカリキュラムが成安造形大学の写真系に、関西学院大学の映像系のカリキュラムへと導入されていきました。

レクチャー後の質疑応答では会場、またオンラインで質問が寄せられました。会場からの「大阪国際メディア図書館と写真表現大学の今後について」との質問には、「ジャンルをもう一度写真と現代美術に絞り込んでいきたい、そして写真と現代美術を往還できる才能を育てたい」との抱負を語られました。

またオンラインからの「これだけの活動されてきた原動力は何か」という問いに対しては「人との出会い」と答えられました。「図書館に写真集を送る」活動では、国立民族学博物館初代館長である文化人類学者梅棹忠夫氏の大きな後押しがあり、その活動を通じて梅棹氏の薫陶を受けられました。また同年、大阪府が文化創造活動の一環として開いていた「なにわ塾」で写真家山沢栄子塾をサポートしながら受講、1920年代にアメリカで写真を学んだ山沢さんより近代写真がいかにして日本に根付いたかを知り作家としての姿勢を学ばれました。そして同じく同年、東松照明世界《今》展の大阪実行委員会に参加して東松氏が出版社を起業し写真学校を運営したと言う活動に大きな影響を受けられました。最初期に出会われたこの3人の人物がその後の畑さんの活動の原動力になっています。

現在写真家として万博記念公園で《奇跡の森》の撮影が続けられていますが、70年万博の跡地はビジネスセンターになる予定だったのを梅棹忠夫氏らが環境問題を先取りし自然文化公園にされた場所であり、また山沢さんの「60歳を過ぎたら社会活動から個人活動を中心に変えてきた」と言う言葉にも突き動かされ写真集創りに専念しているとのことでした。

このように関西の写真シーンにおいて重要な活動にいくつも関わられているのですが、限られた時間の中ではそれぞれを掘り下げる時間がなく、また別の機会を設けてお話をお聞きしたいと感じました。

報告 村中 修



会場風景



畑 祥雄 氏



金澤 徹 理事

撮影：赤木正和



## 6. 理事会 報告

### 令和5年度第5回理事会 R5.9.27

(オンライン会議)

#### 報告連絡事項

1. 第4回理事会議事録確認
2. 7・8月収支報告
3. Paypalの運用について
4. 学会ニュースNo.83発行
5. 学会ホームページ更新状況
6. その他ー写真プリント研究会準備進捗

#### 審議事項

1. 会員入退会手続き
2. 学会誌関係(投稿料・掲載料、逐次刊行物番号ISSN)
3. 日本写真学会令和5年度画像保存セミナー協賛
4. 次年度の他学会との共催事業

### 令和5年度第6回理事会 R5.10.30

(オンライン会議)

#### 報告連絡事項

1. 第5回理事会議事録確認
2. 9月収支報告
3. 関西支部第9回写真研究会(速報)
4. その他ーアート・ドキュメンテーション学会との共催事業

#### 審議事項

1. 会員入退会手続き
2. 学会誌(論文編査読状況・バックナンバー寄贈先)
3. 令和6年度役員選挙(日程・選挙委員長・役員候補者等)
4. その他ー写真プリント研究会実施案/学会ホームページ情報掲載方法

### 令和5年度第7回理事会 R5.12.5

(オンライン会議)

#### 報告連絡事項

1. 第6回理事会議事録確認
2. 10・11月収支報告
3. Paypalの運用開始
4. 学会誌論文編(編集進捗)
5. 関西支部第9回写真研究会実施報告
6. 第5回議事録一部訂正

#### 審議事項

1. 会員入退会手続き
2. 令和6年度役員選挙(候補者推薦)
3. 写真プリント研究会案内方法
4. 写真史研究会実施案
5. その他ー学会誌論文編投稿規定の改定/今後の研究会・分科会の検討

### 令和5年度第8回理事会 R6.1.30

(オンライン会議)

#### 報告連絡事項

1. 第7回理事会議事録確認
2. 令和5年12月・令和6年1月収支報告
3. 学会誌論文編第32巻第2号発行
4. 第3回写真史研究会報告(速報)
5. 第5回写真プリント研究会参加申込状況
6. その他ーホームページの情報訂正(学会誌論文編)

#### 審議事項

1. 会員入退会手続き
2. 令和6年度役員選挙(候補者追加・選挙はがき作成)
3. 令和6年度年次大会(総会・研究発表会・日程・委員長・研究発表募集および学会賞推薦依頼)
4. その他ーアート・ドキュメンテーション学会との共催事業

### 令和5年度第9回理事会 R6.3.29

(オンライン会議)

#### 報告連絡事項

1. 第8回理事会議事録確認
2. 2月収支報告
3. 第3回写真史研究会実施報告
4. 第5回写真プリント研究会実施報告

#### 審議事項

1. 会員入退会手続き
2. 学会誌論文編第33巻第1号休刊
3. 令和6年度役員選挙(集計結果および候補者確認)
4. 令和6年度年次大会(令和6年度前期日程・総会・研究発表会・役員合同会議)
5. アート・ドキュメンテーション学会との共催事業
6. その他ー入会申込時の情報記載

## 7. 入会・ 退会者 一覧

令和6年3月29日 令和5年度第9回理事会承認分まで

(50音順)

〔入会者・正会員〕

木内尚杜、久保元幸、後藤桂子、高柳彰郎、武田功、吉成宏太

〔入会者・学生会員〕

石崎りり子、袁豪、齋藤亮太

〔退会者〕

榎本健、谷口勲夫、富永克巳、中村年孝、名執一雄、森晴繫

## 8. 会員の 皆様に お願い

### 会員の皆さまにお願い

現在、日本写真芸術学会では、一層の学会活動の活性化と会勢拡大を図っております。そこで、改めまして会員の皆さまに次のようなお願いをしたいと思います。

- ① 学会誌（論文編・創作編）に積極的にご投稿下さい。
- ② 本学会主催の年次大会・研究会・セミナー等に積極的にご出席下さい。（研究会等のアーカイブ配信を開始しましたのでご視聴下さい。）
- ③ 展覧会開催や関係図書の出版に際して、本学会の会員であることをプロフィール等にお示し下さい。
- ④ 展覧会開催や関係図書の出版に先立って、学会事務局に情報をお寄せ下さい。（学会ホームページ等を通じて、会員の皆さまの活動を広報します。）
- ⑤ 本学会の理念や趣旨に賛同される方をご存知でしたら、ご紹介ください。

### 訃報

本学会の設立委員で最初の理事として活躍された大阪芸術大学の元教授で写真家の有野永霧先生が5月13日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

#### 日本写真芸術学会 事務局

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-9-19

TEL : 03-6279-8290 FAX : 03-6279-8291 mail : jsahp.info@gmail.com

# 学会誌第 33 巻第 1 号・発行延期のお知らせと 論文投稿募集のご案内 (投稿料、掲載料とも無料)

令和 6 年 6 月発行予定としていました学会誌〈論文編〉令和 6 年度第 33 巻第 1 号は、論文投稿がなかったため発行を延期し、下記要領にて投稿募集を継続いたします。論文投稿を考えられていた方はぜひこの機会にご投稿ください。昨年度より投稿料・掲載料とも無料となっています（通常通り査読は行います）。

令和 6 年度第 33 巻第 2 号は〈創作編〉として発行されますので、次の〈論文編〉は令和 7 年度第 34 巻第 1 号（令和 7 年 2 月申込締切、令和 7 年 6 月発行予定）となります。

学会誌は学会の重要な研究発表の場です。会員の皆様には益々活発な研究成果の発表・投稿をして頂きたくお待ちしております。詳細につきましては学会誌巻末または学会ホームページ内の投稿規定をご覧ください。

## — 記 —

**投 稿 締 切 日**：令和 6 年 9 月末日予定（投稿予定の方は 7 月中に事務局までお知らせ下さい）

＊学会 HP の論文投稿申込フォームからお申込み頂くか、又は所定の申込書を添付して、投稿論文を期日までに学会事務連絡先までお送り下さい。

＊原則的に投稿論文は CD 等のデータ入稿をお願い致します。更にプリントアウトした論文（英文タイトル、アブストラクト、論文に必要な図、表、写真原稿）を一式添付して下さい。

＊ 10 月中に査読審査の上、ご連絡の予定です。

**発 行 予 定 日**：令和 6 年 12 月中旬

投稿論文等の数が極端に少なかった場合、またその内容や査読審査の結果によりやむを得ず発行を休止することもありますので、ご了承下さい。

キリトリセン

## 論 文 投 稿 申 込 書

年 月 日

|  |          |                  |                |
|--|----------|------------------|----------------|
| 日本写真芸術学会誌 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 号へ論文の投稿を申し込みます。 |          |                  |                |
| 氏<br>名   |          | 会<br>員<br>番<br>号 |                |
|  |          | 電<br>話           |                |
| 連<br>絡<br>先  | 〒        | メ<br>ー<br>ル      |                |
|  |          | 原 稿              | 原稿用紙 約 _____ 字 |
| 題<br>名   |          | 形 態              |                |
| 論<br>文<br>概<br>要   |          |                  |                |
| 事<br>務<br>局<br>欄   | 年 月 日 受付 | 整<br>理<br>番<br>号 |                |

コピーをとってご利用下さい。